

2024年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年7月14日
東

上場会社名 SFPホールディングス株式会社 上場取引所
 コード番号 3198 URL <https://www.sfpdining.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐藤 誠
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 坂本 聡 (TEL) 044(750)7154
 四半期報告書提出予定日 2023年7月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年2月期第1四半期の連結業績 (2023年3月1日~2023年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年2月期第1四半期	7,156	54.7	592	—	655	△53.7	489	△56.3
2023年2月期第1四半期	4,626	107.5	△603	—	1,417	—	1,122	—

(注) 包括利益 2024年2月期第1四半期 483百万円(△57.3%) 2023年2月期第1四半期 1,132百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年2月期第1四半期	18.99	—
2023年2月期第1四半期	43.51	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年2月期第1四半期	17,588	12,765	72.6
2023年2月期	17,574	12,540	71.4

(参考) 自己資本 2024年2月期第1四半期 12,765百万円 2023年2月期 12,540百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年2月期	—	10.00	—	10.00	20.00
2024年2月期	—	—	—	—	—
2024年2月期(予想)	—	10.00	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年2月期の連結業績予想 (2023年3月1日~2024年2月29日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	27,000	17.8	1,000	—	1,200	△24.2	900	63.7	34.90

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年2月期1Q	25,788,689株	2023年2月期	25,788,689株
② 期末自己株式数	2024年2月期1Q	337株	2023年2月期	305株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年2月期1Q	25,788,365株	2023年2月期1Q	25,788,384株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結損益計算書関係)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が収束しつつある中、人流及びインバウンドの増加により社会経済活動の正常化が徐々に進み、緩やかな回復傾向が見られています。一方で、ウクライナ情勢の長期化、物価上昇等の影響は継続しており、依然として景気の先行きは不透明な状況が続いております。

外食産業におきましては、昨年後半より売上高がコロナ以前を上回って推移しておりますが、世界情勢の変化に伴う諸コストの上昇など、経営的には厳しい状況が続いております。当社が主に展開する居酒屋業態では、コロナの5類移行により中小規模の宴会が少しずつ増加し、早い時間帯ではコロナ以前と同程度の集客もありますが、深夜帯や二次会需要の低迷により売上はコロナ前の60%程度に止まっており、厳しい状況が続いております。

このような状況の中で当社グループは、引き続き固定費の圧縮に努めるとともに、食材価格の高騰を踏まえたメニュー改定や臨機応変な営業時間の見直し、人材採用の積極化など収益性の改善に向けた取組みを推し進めてまいりました。また、出店戦略においては、「ネオ大衆酒場」として小型かつ低投資の業態の開発・出店に注力するとともに、注力エリアである地方都市での出店も継続しております。

鳥良事業部門においては、「鳥良商店」を1店舗退店し、当第1四半期連結会計期間末現在の店舗数は36店舗となり、当第1四半期連結累計期間の売上高は1,342百万円（前年同期比54.6%増）となりました。

磯丸事業部門においては、「磯丸水産」を3店舗退店し、当第1四半期連結会計期間末現在の店舗数は直営101店舗、フランチャイズ15店舗となり、当第1四半期連結累計期間の売上高は4,333百万円（前年同期比56.7%増）となりました。

その他部門におきましては、「五の五」を1店舗出店したほか、「浜焼ドラゴン」1店舗を「五の五」へ業態転換し、当第1四半期連結会計期間末現在の店舗数は28店舗となり、当第1四半期連結累計期間の売上高は1,011百万円（前年同期比53.9%増）となりました。

フードアライアンスメンバー（連結子会社）においては、株式会社ジョー・スマイルが「前川珈琲レストラン」1店舗を「光の森珈琲」へ業態転換いたしました。また、株式会社クルークダイニングが「抹茶館」を1店舗出店したほか、フランチャイズの「からあげセンター」を1店舗退店いたしました。その結果、当第1四半期連結会計期間末現在の店舗数は株式会社ジョー・スマイルが13店舗、株式会社クルークダイニングが14店舗となり、当第1四半期連結累計期間の売上高は468百万円（前年同期比39.6%増）となりました。

以上の結果、当第1四半期連結会計期間末の総店舗数は、直営192店舗、フランチャイズ15店舗となり、当第1四半期連結累計期間における当社グループの売上高は7,156百万円（前年同期比54.7%増）、営業利益は592百万円（前年同期は営業損失603百万円）、経常利益は655百万円（前年同期比53.7%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は489百万円（前年同期比56.3%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産の残高は、前連結会計年度末に比べ14百万円増加し、17,588百万円となりました。主な増減要因は以下のとおりです。

(流動資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、前連結会計年度末に比べ39百万円増加し、10,424百万円となりました。これは主に、その他流動資産が32百万円、関係会社短期貸付金が20百万円減少した一方で、売掛金が113百万円増加したことによるものです。

(固定資産)

当第1四半期連結会計期間末における固定資産の残高は、前連結会計年度末に比べ25百万円減少し、7,164百万円となりました。これは主に、有形固定資産が33百万円増加した一方で、無形固定資産が28百万円、投資その他の資産が30百万円減少したことによるものです。

(流動負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、前連結会計年度末に比べ84百万円減少し、3,600百万円となりました。これは主に、買掛金が139百万円増加した一方で、その他流動負債が267百万円減少したことによる

ものです。

(固定負債)

当第1四半期連結会計期間末における固定負債の残高は、前連結会計年度末に比べ126百万円減少し、1,222百万円となりました。これは主に、長期借入金が120百万円減少したことによるものです。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産の残高は、前連結会計年度末に比べ225百万円増加し、12,765百万円となりました。これは主に、利益剰余金が231百万円増加したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2023年4月14日に発表いたしました「2023年2月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」に記載しております予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,252,562	9,244,661
売掛金	506,981	620,653
原材料及び貯蔵品	126,526	112,550
関係会社短期貸付金	20,000	—
その他	479,301	446,611
流動資産合計	10,385,372	10,424,476
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	7,915,372	7,919,635
減価償却累計額	△4,365,632	△4,398,839
建物及び構築物（純額）	3,549,740	3,520,795
土地	11,570	11,570
建設仮勘定	5,986	47,127
その他	2,195,451	2,186,851
減価償却累計額	△2,024,598	△1,994,680
その他（純額）	170,852	192,171
有形固定資産合計	3,738,150	3,771,665
無形固定資産		
のれん	313,699	285,893
その他	11,502	11,053
無形固定資産合計	325,201	296,946
投資その他の資産		
敷金及び保証金	2,840,106	2,833,825
その他	285,811	261,814
投資その他の資産合計	3,125,918	3,095,639
固定資産合計	7,189,270	7,164,252
資産合計	17,574,643	17,588,728

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年5月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	685,435	825,122
短期借入金	205,000	205,000
1年内償還予定の社債	50,000	50,000
1年内返済予定の長期借入金	120,480	150,560
未払法人税等	145,869	151,623
賞与引当金	173,696	243,879
株主優待引当金	112,368	64,459
店舗閉鎖損失引当金	23,767	15,867
資産除去債務	19,200	12,011
その他	2,149,766	1,882,202
流動負債合計	3,685,584	3,600,726
固定負債		
長期借入金	243,280	122,920
退職給付に係る負債	320,728	325,529
資産除去債務	685,593	689,843
その他	99,276	84,080
固定負債合計	1,348,877	1,222,373
負債合計	5,034,461	4,823,100
純資産の部		
株主資本		
資本金	49,340	49,340
資本剰余金	6,396,159	6,396,159
利益剰余金	6,069,493	6,301,429
自己株式	△519	△581
株主資本合計	12,514,473	12,746,346
その他の包括利益累計額		
退職給付に係る調整累計額	25,707	19,280
その他の包括利益累計額合計	25,707	19,280
純資産合計	12,540,181	12,765,627
負債純資産合計	17,574,643	17,588,728

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2022年3月1日 至2022年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2023年3月1日 至2023年5月31日)
売上高	4,626,538	7,156,209
売上原価	1,363,247	2,089,270
売上総利益	3,263,291	5,066,938
販売費及び一般管理費	3,866,832	4,473,965
営業利益又は営業損失(△)	△603,541	592,973
営業外収益		
協賛金収入	53,296	59,364
助成金収入	※ 1,960,803	※ 315
持分法による投資利益	2,292	1,107
その他	9,511	3,334
営業外収益合計	2,025,904	64,121
営業外費用		
支払利息	431	459
その他	4,687	720
営業外費用合計	5,119	1,180
経常利益	1,417,244	655,914
特別利益		
店舗閉鎖損失引当金戻入額	4,805	2,239
特別利益合計	4,805	2,239
特別損失		
固定資産除却損	522	833
減損損失	27,672	—
店舗閉鎖損失引当金繰入額	4,050	—
特別損失合計	32,244	833
税金等調整前四半期純利益	1,389,804	657,320
法人税、住民税及び事業税	195,099	151,623
法人税等調整額	72,630	15,876
法人税等合計	267,729	167,500
四半期純利益	1,122,074	489,820
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,122,074	489,820

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2022年3月1日 至2022年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2023年3月1日 至2023年5月31日)
四半期純利益	1,122,074	489,820
その他の包括利益		
退職給付に係る調整額	10,447	△6,426
その他の包括利益合計	10,447	△6,426
四半期包括利益	1,132,521	483,393
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,132,521	483,393
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結損益計算書関係)

※ 助成金収入の内容は、新型コロナウイルス感染症に係る雇用調整助成金及び時短協力金等です。

(セグメント情報等)

当社グループは、飲食事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。